

3. アンケート調査の結果（様式2回答結果）

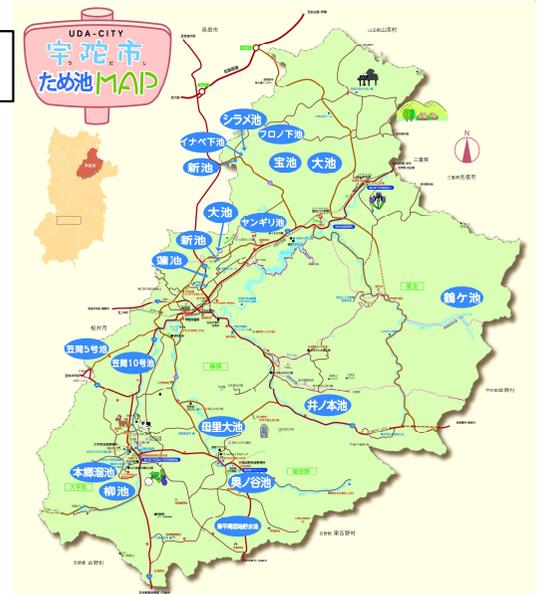
19. ため池ハザードマップへの作成、周知

具体的な 取組内容	<ul style="list-style-type: none">・【下市町】令和3年3月に改訂（次回はR7年度に改定予定）し、毎年4月の広報誌に同封し町民へ配布・【下市町】社会資本整備総合交付金事業の補助金を利用・【宇陀市】宇陀市内において点在する農業ため池の内、貯水量及び立地条件から決壊した際に危険なため池19池のハザードマップを作成し、ホームページにおいて、掲載・周知
問題点・課題と その対応方法	<ul style="list-style-type: none">・【下市町】地図の作成、印刷を外部委託し、質を上げた。
取組の実施に 要した期間	<ul style="list-style-type: none">・【下市町】約10ヶ月

下市町防災マップ



宇陀市ため池マップ



3. アンケート調査の結果（様式2回答結果）

26. 避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合などの応急的な避難場所の確保

<p>具体的な 取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【吉野町】町の指定避難所や避難場所以外の避難先の確保を推進。自宅避難や地域外避難、車中避難等の多様な避難の方法を紹介する取り組みを実施。中でも地域住民同士が話し合いを経て地域内で避難場所の指定を行う動きをサポート。 ・【川上村】地区内においてこれまでの経験により危険個所が地区内で共有されていることが前提で、避難が遅れてしまった場合は臨時的により安全と思われる家庭への避難を実施（行政の取り組みではない）
<p>問題点・課題と その対応方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【吉野町】避難所に避難をすることが第一優先と捉える住民が多くいる現状。正常性バイアスにおける避難行動の遅れが生じる現状。このような現状を認識した上で取り組みを進める必要がある。 ・【吉野町】ここ数年はコロナ禍で防災学習会を実施する機会が少なかったため、住民意識の再高揚を図る必要がある。
<p>取組の実施に 要した期間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【吉野町】6ヶ月

避難場所（吉野町提供）



3. アンケート調査の結果（様式2回答結果）

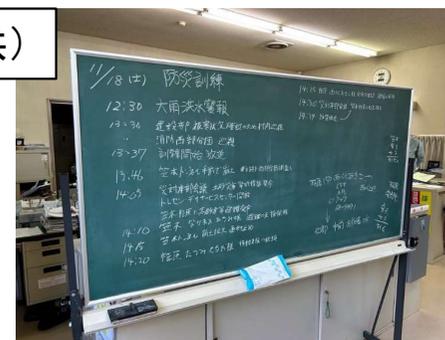
43. 水防団（消防団含む）との情報伝達訓練の実施

<p>具体的な 取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【下市町】下市町消防団合同訓練内で情報伝達訓練を実施 参加者：約160人、訓練内容：放水訓練 ・【黒滝村】大雨による土砂災害を想定した避難訓練がメインとなる防災訓練を実施。消防団による避難者の支援、福祉避難所の設営、指定避難所の設営等を行い、その中で各種団体との情報伝達訓練を行い、消防団との情報伝達も実施。
<p>問題点・課題と その対応方法 ・工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【下市町】訓練周辺地区への訓練周知協力依頼 ・【下市町】訓練実施・片側通行の周知看板の設置 ・【下市町】消防団員への交通安全ルールの遵守及び一般車両の安全な誘導の徹底 ・【下市町】奈良県広域組合下市消防署との連携 ・【黒滝村】訓練シナリオを各箇所をチェックする体制の確保 ・【黒滝村】消防署長に全体の講評をしてもらい、専門的な意見を ・【黒滝村】要配慮者や逃げ遅れ者を想定
<p>取組の実施に 要した期間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【下市町】毎年実施予定 ・【黒滝村】10月中にシナリオ等作成 →11月1日関係者会議 →11月18日訓練実施 →12月4日反省会（約2ヶ月）

放水訓練（下市町提供）



役場での情報伝達（黒滝村提供）



3. アンケート調査の結果（様式2回答結果）

53. 小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施

<p>具体的な 取組内容</p>	<p>・【五條市】小中学生を対象に、パワーポイントを使って過去の水害に関する説明やハザードマップを活用した浸水エリア・避難施設の確認などの防災教育を実施 参加者：五條南小学校 4年生 37名、五條小学校 4年生 27名（R5年度）</p>
<p>問題点・課題と その対応方法 ・工夫した点</p>	<p>・【五條市】パワーポイントで実際に写真や資料を見ることやクイズ形式で参加してもらうことで、難しい言葉で説明するよりも伝えたいポイントや災害の様子がイメージしやすかったものと思われる。 ・【五條市】また、ハザードマップを初めて見る子どもたちも多いため、地区ごとに作成しているハザードマップを配布し、自分たちの地域を舞台に自宅や学校、避難所を結ぶ経路にどのような危険箇所があるか学んでもらうことができた。</p>
<p>取組の実施に 要した期間</p>	<p>・【五條市】毎年実施</p>

防災教育の様子(五條市提供)



3. アンケート調査の結果（様式2回答結果）

54. 水害リスクの程度に応じた水災害意識啓発の広報（出前講座の実施）

具体的な取組内容	・【吉野町】地域を対象とした水害教育の実施 （避難経路の確認・ハザード確認・防災備品の確認等）
問題点・課題とその対応方法 ・工夫した点	・【吉野町】ここ数年はコロナ禍で防災学習会を実施する機会が少なかったため、住民意識の再高揚を図る必要がある。 ・【吉野町】また、町主導の学習会のみならず、地元に関係する防災士による避難に関する講習や自治会同士の合同訓練等も今後は検討し、マンネリ化を防止し積極的に住民参加を呼びかける。
取組の実施に要した期間	・【吉野町】1ヶ月

水害教育の様子（吉野町提供）

